

# 第2回中央区アート & デザインコンペ in 築地本願寺

若手芸術家育成のためのオークション出品作品



## LOT.01 Sapana

### 彩蘭弥(Alaya)

多摩美術大学日本画専攻卒業

江戸の中心として栄えた中央区。その文化の波を、葛飾北斎の浮世絵から着想を得た筆致と、抽象的な海のモチーフで表現し、東京湾に面する中央区の記憶と未来をつなぐ存在として描きました。

和紙に岩絵具、墨

333×455mm



## LOT.02 metaborism

TOMOMI

東京藝術大学大学院芸術学美術教育修了

浮世絵での中央区の様子と、現在の中央区の様子を比較して、変化した風景と残っている芸能・文化から着想を得て、都市の代謝をテーマに制作した。

キャンバス、油彩

264 × 334mm



## LOT.03 むろまち

高野 光

武蔵野美術大学 大学院造形研究科修士課程  
絵画専攻油絵コース修了

水浅葱・甚三紅・狐色など江戸の色彩を纏う  
日本橋室町の光景。

写真

エディション：1/1

420×297mm



LOT.04

深海からの響

～Harmony from the Deep Sea～

キリコ力

明治学院大学文学部芸術学科美術史専攻卒業

築地という土地は、海が埋め立てられた土地ということで、人々が築地の海に寄せてきた想いや光が永い年月をかけて地上に上がってくるイメージを描きました。

キャンバスに油彩

350×440mm



## LOT.05 銀座と薔薇

金森 美紗輝

京都芸術大学通信教育部書画コース卒業

華やかで高級感のある点で銀座と薔薇は共通していると思って描いた。

雲肌麻紙に日本画

220×273mm



## LOT.06 藍富士

岡戸 竹

東北芸術工科大学芸術学部美術学科  
工芸コース漆芸専攻卒業

江戸の”中心”である日本橋から始まった富嶽  
三十六景に思いを馳せ、空から見た富士山と  
雲を表現しました。

紙に藍染、金箔

465×465mm



## LOT.07 Intermission 1

吉見 紫彩

神戸大学大学院発達環境学研究科修了

歌舞伎の幕引きから幕開けまでの幕間30分という時間に注目し、30分で描き上げたペインティング。新富座（現在の中央区新富）で初演された土蜘蛛の隈取模様を再構成した。

紙、ファンデーション、パステル、  
オイルパステル、アクリル

380×270mm



## LOT.08 夜明け前に踊る

陳憶誠

京都芸術大学大学院芸術学部版画領域修了

夜明け前、星達は集まり、  
元気を湧き立たせる楽しい踊りを舞っている。

油性木版画/紙に油性インク

300×305mm



## LOT.09 線刻山水図

高畑 彩佳

京都芸術大学大学院芸術学部ペインティング領域修了

慌ただしく、あるいは停滞したままの時を過ごす中で、誰かが定めた正しさではなく自分の心に恥じない時を刻めるように自分を省みる、自分の軸を思い出すための装置である。

チップボール、ボローニャ石膏、兎膠、箔下砥粉、縁付銀箔打合、茶墨

350×210×21mm



LOT.10

鶉

湯浅 泰将

筑波大学大学院人間総合科学研究科  
芸術学学位プログラム日本画領域修了

裏彩色という紙の裏側から絵具を滲ませる技法でマチエールをつくり、鶉が佇む空間を表現しました。

雲肌麻紙、染料、胡粉、水干絵具、岩絵具

220×273mm